

《基礎教育科目 基礎教育科目 選択必修》

科目名	ジェンダーと教育				
担当者氏名	栗本 敦子				
授業方法	講義	単位 卒業の必修・選択	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・前期
科目 / 施行規則に定める 科目区分又は事項等	(保) - 保育の本質・目的に関する科目				

《授業の概要》

社会的に構成される女 / 男らしさをさすジェンダーは、社会的規範として多くの人が無意識に受け入れている反面、個人の生き難さにつながる抑圧ともなっている。日本ではジェンダー格差が大きいことや、性の多様性の尊重などの点からも、今後、ジェンダーに関する基本的な知識や視点は不可欠ものである。この授業では、ジェンダーについての基本的な考え方と、ジェンダーを取り巻く諸問題について解説し、グループワークなどで受講生の意見交換を行い各自の経験にひきつけて理解を深める。さらに、教育・保育の現場において子どもたち一人ひとりの個性をいかしていくため、ジェンダーバイアスを克服する教育のあり方について論じることができる力量をはぐくむ。

《授業の到達目標》

1. ジェンダーについて基本的な考え方を理解し、ジェンダー格差をめぐる現状や性の多様性についての知識を得る。そのうえで、自らのジェンダー意識をふりかえるとともに、他者への共感的理解の姿勢をもつ。
2. ジェンダーを取り巻く諸問題について理解し、社会的課題への関心をもつ。また、予防や解決に向けてのとらえ方を知り、問題解決にむけて主体的に考えることができる。
3. 教育・保育のさまざまな場面をジェンダーの視点から読み解くことができる。グループワークを通して多様なとらえ方や発想にであり、ジェンダーの公平をめざしたとらえ方を創造性をもって考えることができる。

《成績評価の方法》

平常点20%、ふりかえり用紙（毎回の授業で記入）30%、課題（レポート）50%

《参考図書》

『はじめてのジェンダー論』（加藤秀一、有斐閣）『書いて考えるジェンダー・スタディーズ』（小平麻衣子・氷見直子、新水社）『図解雑学ジェンダー』（加藤秀一ほか、ナツメ社）

《教科書》

プリントを配付する。

《科目番号 / 担当形態 / 免許資格の必修区分 / 備考》

科目番号：H01
担当形態：単独
幼稚園教諭：・
保育士：選択必修

《担当教員の実務経験と授業の関連》

ジェンダーに関するワークショップ教材の開発、小・中・高におけるワークショップの実践を行った経験より、外部で開発・実践した教材の応用、外部リソースの紹介などを行う。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容 / 学習課題【予習復習・時間】
1	ジェンダーとは	授業のすすめ方についてのオリエンテーションとグループワークの基盤づくり / 「ジェンダー」概念についての導入 / シラバスの内容を把握し、自分なりの到達目標を考える【30分】
2	ジェンダーとは	セックス（生物的性）とジェンダー（社会的・文化的性差）の違いを知り、ジェンダー規範による抑圧に気づく / 性別二元論というとらえかたをおさえ、自明のものとしてきた男女の区別を問い直す【30分】
3	ジェンダーとは	ジェンダー規範にもとづく社会のありかたが女性に不利益に働いていること、性差別の現状についての認識をもつ / 自分自身が身に付けてきたジェンダー規範および外的抑圧・内的抑圧をふりかえる【30分】
4	メディアとジェンダー	絵本やアニメなどのメディアのなかで、ジェンダー規範が表現されているもの、ジェンダーからの解放を試みた表現などを具体的に分析する / 自分に影響を与えたメディアをジェンダーの視点でふりかえる【30分】
5	性の多様性	自分自身について「性」の4つの側面からふりかえり、性の多様性について基本的な知識・とらえかたを身につける / 性分化疾患について理解する / 「性」について、自らの枠組みを問い直し、整理する【30分】
6	性の多様性	性自認とトランスジェンダー・Xジェンダー、性指向と同性愛・無性愛について知り、セクシュアル・マイノリティがおかれた状況を理解する / 性の多様性の尊重とアライとしてのあり方を考える【30分】
7	ジェンダーと子どもの成長	ジェンダー意識が子どもの成長に与える影響を知り、保育現場での「隠れたカリキュラム」に気づく / 自分自身の経験や実習における子どもたちや保育現場の様子をジェンダーの視点でふりかえる【30分】
8	ジェンダーと暴力	恋愛など親密な関係におけるジェンダーの影響とデートDVについての基本的なパターンを知る / ジェンダーに起因する暴力が得意な個人の問題ではなく社会的な構造が影響しているという認識を確立する【30分】
9	ジェンダーと暴力	性暴力・性虐待について、世間一般にある思い込みと被害の実態が、また二次被害について知る / 被害の予防と対応の手立てを知る / 現場で性暴力・性虐待の懸念がある時の対応をシミュレートしてみる【30分】
10	家族・育児とジェンダー	両親と子どもからなる標準家族や性別役割分業が戦後数十年の限定的なものであること、および現代のさまざまなライフスタイルと多様な家族のありかたを知る / ライフステージごとの選択肢を整理しておく【30分】
11	家族・育児とジェンダー	子育てのあり方および「母」の役割が時代とともに変遷してきたことを知る / 現在も強く影響している「母性愛」と「三歳児神話」の問題点を認識する / 自身の子育て観を問い直し、解放する【30分】
12	家族・育児とジェンダー	事例の分析から、ジェンダー規範による子育てイメージと子ども虐待の関係に気づく / 子どもの成長のために、ジェンダーの視点からの保護者のエンパワメントや子育ての社会化が必要なことを知る【30分】
13	ジェンダーと未来	自身の内面から身近な人間関係、メディアや社会制度まで、ジェンダーが大きく影響していることを確認し、多様性が尊重された社会のためにどのような取り組みが求められるか、何ができるかを検討する【30分】
14	わたしとジェンダー	【研究課題】自分自身のジェンダー意識の形成過程をふりかえり、周囲（保護者や教員など）や社会からどのようなジェンダーに関する期待と抑圧を受けてきたか、どのように内面化してきたかを整理する【90分】
15	ジェンダーと子どもの成長	【課題研究】自分自身のあり方も他者のあり方も尊重できる子どもたちの成長のため、保育・幼児教育の現場においてどのようなかわりが求められるか、これまで学んだことをもとに考察する【90分】